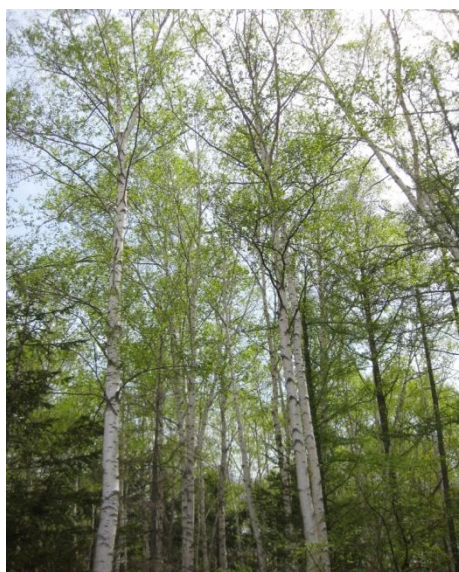




栃の木からの手紙

2014年 6月号



空にうつれ 水にひびけ
空気に染まれ みどり ……

(谷山浩子 風になれ -みどりのために-)

農作業の忙しさに、気がつけば桜も終わり辺り一面新緑の世界。家の周りや街中の花壇にも草花が咲き乱れている。

小さな石垣の隙間からさえ、可憐な花を咲かせた すみれ。農作物の播き付けの終わる頃には、露地のアスパラガスが伸び始め、収穫する周囲では、数羽のすずめやセキレイがちょこちょこしている。足元には、うんざりする程の雑草。ごぼうの様な小さな細い根を伸ばしている雑草。そんな雑草は一本一本手で抜いて、細かい新芽は草取りホーで削ってゆく。皆さんの家の周りや花壇では、雑草との対話が始まりましたか？ いかがですか？

6月 水 無 月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
3	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

5日：世界環境デー

6日：芒種

9日：まち育講座 “身も心もリフレッシュ”

マナビティセンター 10時 ~ 12時

申し込み 6月2日まで

13日：満月 旧5月16日

21日：夏至

27日：新月 旧6月 1日



5月29日に家庭菜園セミナーが行われ、午前12名・午後14名の参加者が受講し大豆の播種を体験しました。

昨年栽培した青大豆の自家種を中心に播種を行い、その他自家種の拡大（種友）を目指して5品種の豆を少量ずつ播種しました。夏には、枝豆として、そして秋冬には大豆を加工して食育の普及を願っています。

同日のセミナー終了後、花壇の清掃が行われました。暑い陽射しの下、葉を広げ花の芽を出し始めた栃の木は、清掃作業で疲れた私達にひと時の憩いの場を提供してくれました。



5月31日、藤棚の修繕を行いました。

藤棚をいつもの方向から見ている分には問題ないが、別の方向から見た時にまるっきり傾いている事に気が付きました。ひとつの物事を多方面から考えてみる事の大切さを気づかされた5月末の行事でした。

～ 名寄農場でも稲づくりをしています ～

ここ最近、とても寒い日が続いています。特に網走では雪もちらついたようですが、オホーツク地帯は例年のようにこの時期に季節外れの天候に見舞われます。このような悩ましい天候とも仲良く付き合いながら、生産者の皆様は播き付け、植え付け作業に勤しんでおられます。生産者の皆様にとりまして、作業が順調に進むようお願いしています。

さて、初めてお聞きになる方もいるかと思いますが、名寄農場としては3年前に新規で水田を造成し、2年前から稲づくりを始めております。1枚の水田（面積60坪）が3枚という小さな面積ですが、稲づくりを始めるきっかけとなったのは、以前もご紹介したかもしれませんが、現在、MOA自然農法グループとして、自然農法栽培に適する稲の品種育成事業を全国的に行っています。特に、冷害に強く、あまり養分が少ない水田でも生育、収量、食味が良い品種を作りたいということで、名寄農場での試験実施が決定しました。ちなみに日本における稲づくりの北限は美深町（名寄の隣町）とのことで、これが実現すれば本当に画期的な事であり、必ず成功させなくてはならないと考えています。

また本年からは自然農法の稲づくりにとって一番の技術的課題である雑草対策に関する試験も実施することになりました。予てより、水稻生産者の皆さんから自然農法による稲づくりの試験圃場づくりを求める声もありました。型は小さいですが、この水田で行う試験が自然農法に取り組む全道の水稲生産者のお役に立てればと考えています。

型は小さいですが、名寄農場に水田ができて、これで水稻、畑作のモデル作りを行う圃場が整いました。今後も自然農法の技術確立に向けてスピード感をもって取り組みます。



5月29日（木）、美幌センターで“家庭菜園セミナー”が行われました。名寄農場の畑普及員の指導のもと午前は講義、午後は実際に圃場で大豆の播種作業が行われました。

2月号で案内しました恵庭市の坂本一雄氏から分けて頂いた自家種（青大豆・黒千石・トウモロコシ・黒大豆・クラカケ）の播種も行われました。

ざっそう

2014年 6月号

名前。知らないより知っていた方が、より愛着が湧く。関心があるのなら尚の事。人と話をするにしても、私自信、相手の名前を思い出せずに話続ける事も多い。誰だっけ？

アスパラの出荷を済ませて車から降り立ち、“今夜は良い天気だなあ～、星が綺麗だなあ～…”と、**見上げる星空。** 夜9時過ぎ、春の星座“しし座”が西空に傾き始め、冬の星座“ふたご座”のカストルとポルックスが西の地平線と並行に並び、その直ぐ下に“木星”が沈まんとしている。地球との距離が近くなったとして話題の“火星”は南の空“おとめ座”にいる。明るい星が二つあるのでどちらが一等星のスピカでどちらが火星なのかな？と思ったら、赤っぽい方が火星です。

東の空には夏の星座が昇って来ています。シベリアに帰ったはずの“白鳥座”。北の空に“大熊座の北斗七星”を探し、北極星（ポーラスター）を見つけ暫く見上げている。心、洗われるひと時。



アスパラの収穫。歩くそばから付かず離れず“スズメ”と“セキレイ”。「草の種を食べてくれよ。虫達を食べてくれよ。」と思いながら、驚かさない様に仕事を続けるが、うちの倉庫等に住んでいる鳥達だと思っている。

足元を見ると、種からはえたばかりの子草や、ロゼットで越冬した根の張った草などが成長して草畑にアスパラが出ている感じが否めない。

ざっそう・雑草。 人の名前を勝手に変え様とする人もいるが、“イヌガラシ”と呼ばれた雑草は、「私は、そんな名前じゃない！」 “スカシタゴボウ”などと呼ばれたら「やだ！」と、言うかも知れない。でも、共通の名前を知る事で他者との情報の共有が図れるし、やはり愛着も湧く。



【 イヌガラシ 】

【 スカシタゴボウ 】

どちらも、似たような雑草で根で繁殖しているので、無暗に表面だけ処理しないで出来る事ならゴボウの様な根を採ってしまいたい。ゴボウ根から生え

る白い茎の部分まで採って喜ばない様に。その先には本体のゴボウ根が再生を狙っています。見分け方は、葉の切れ込みが深いのがスカシタゴボウ。



【 スズメノカタビラ 】

種子の繁殖が旺盛。越冬した株は直ぐに種を付ける。針の様な子草の時期に処理。

種子が出来ない内に根株ごと抜き取る。多数の糸根です。





オレンジハウス 美幌店



2014年 6月号

美幌町青山南14-8

TEL 73-2678

* かぼすポン酢キャンペーン *

キャンペーン期間6月1日(日)から6月30日(月)

1本 583円 ⇒ **553円!!**

更にまとめ買いお得価格で



10本入り1箱5,830円⇒ **5,247円!!**

かぼすの名産地九州大分県の自然農法産かぼす果汁使用名産地九州大分県の使用ふんわりと香るかぼすの酸味が食材の美味しさを引き立てます。

★平安醤油、純米酢、ミネラルシュガーを使用。

一般的にポン酢は多くの場合、化学合成された調味料で味を整えますが「かぼすポン酢」は無添加で飽きの来ない味わいに仕上がっています。健康等、塩分に気を付けてる方、日頃のお醤油の替わりや、サラダ、和食だけではなくて洋風、中華風のお料理等、かけて食べるだけではないさまざまな食べ方で素材の味わいがたのしめます。